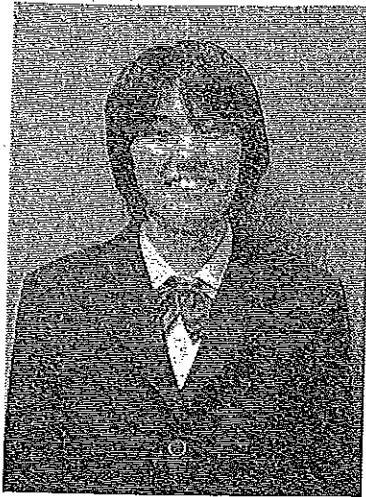


日商簿記1級に見事合格

現役の高校生は“まれ”

津山商業高 初の快挙 平野朱莉さん(3年)

津山商業高校(山北)情報ビジネス科3年・平野朱莉さん(小田中)が、日本商工会議所主催の簿記能力検定1級試験に見事合格した。現役高校生の合格はまれで、同校では初めて。この快挙に学校関係者らは喜び、平野さんの頑張りをたたえている。試験は11月にあり、



日商簿記1級に合格した平野さん

平野さんは同校で受験。1級は全国で1万3140人が受け、1690人が合格した(合格率12.9%)。1級試験は商業簿記、会計学、工業簿記、原価計算について高度な

知識、財務諸表の作成など複雑な事務処理能力が求められる、合格者には税理士試験受験資格が与えられる。平野さんは昨年6月の試験でわずかに合格点に達せず、再挑戦。今回、

原価計算は満点だった。「合格と聞いてびっくり。とてもうれしい。前後悔しい思いをしたので、苦手な会計学を特に頑張った」と平野さん。9月から週3、4日、放課後約1時間半の補習を受け、自宅では毎日夜3時間、試験勉強に励んだという。入学してすぐに簿記部に入部。昨秋、全経簿記上級に合格したほか、全商の簿記1級、情報処理1級、珠算電卓1級、会計実務など多数。

指導した土光太郎教諭(43)は「飲み込みが早く、簿記的なセンスがある。丁寧に勉強すれば合格できるという勇気を他の生徒たちにも与えてくれた。さらに専門的に勉強し、津山の企業で貢献してほしい」と期待している。

兵庫県神戸市にある簿記専門学校へ進学(特待生で授業料免除する)になった。2年間しっかり勉強して税理士資格を取り、津山の企業で資格を生かす仕事に就きたい。